

12月19日(日)に西宮掃除に学ぶ会西宮神社で行われました。
第231回目で今回で開始以来21年目に入りました。
参加者は14名で(内関学大生9名)でした。
第一回来の参加メンバーは佐藤のみですが6年前から石井現代表に加わって頂きその関係での新たなメンバーが加わり継続できておりますと共に同時期に関学大サッカー部さんが8名前後参加くださり活気溢れる掃除の会が継続できております。
コロナ禍で規制されることも多々ありますが第3日曜日の月例会は今後も地道に実践して参りたいと新たな決意をしております。

前代表世話人 佐藤弘一

鎌山秀三郎先生の言葉
始める勇気と

続ける根気で



打算を排して

取り組むこと

◆第231回 西宮神社 おかめ茶側 トイレ掃除

12月19日 日曜日、空も晴れ渡り、大変気持ちの良い朝です。
学生さん9名、大人5名の14名の方にご参加頂きました。
リーダーは堀、道具説明は大谷さん、注意事項は石井さんでした。

<体験感想>

堀 りか さん

普通の生活が普通でなくなった昨今、西宮神社のトイレ掃除ができることに感謝です。
学生さんは掃除を始めた時、顔は少し強張った感じで躊躇ていましたがトイレ(自分)に向き合う真剣な姿を拝見し、掃除のすばらしさを認識しました。掃除を始めた時と終わったときの心境の変化がはっきり感じられるのもトイレ掃除の魅力だと思います。活気に溢れた明るい楽しい掃除となりました。これからも継続していきたいと再度感じました。



関西学院大学 サッカー部 4年 梅木 絢都さん

今回参加させていただきありがとうございました。トイレ掃除ということ自体、人生で初めての経験でした。
掃除するための道具を大切に使うことや、綺麗にした後の達成感などを体験することができ、貴重な時間を過ごすことができました。
今回の神社清掃を機に自分の家のトイレも率先して掃除していきたいと思っております。ありがとうございました。

関西学院大学 サッカー部 4年 上田 寛さん

私は今回で3度目の参加でしたが、掃除前の時点で、前回との違いを感じて驚きました。
初回がコロナでの休止明けだったこともありですが、毎月継続的に掃除することでここまで変わるのかと感動しました。
日々の何気ないこともやり続けることで変化が生まれることを実感できた素晴らしい機会でした。ありがとうございました。

関西学院大学 サッカー部 4年 松本 龍典さん

今回の西宮清掃は初めての参加とでした。
トイレ掃除と聞く初めの方は汚ればかり気にしていましたが、掃除している間は自分と向き合う事の大切さを学びました。
自分が任せられた便器をひたむきに磨く事で心もすっきりして自分にとっても有意義な時間でした。
些細なところまで綺麗にする事で日常の何気ない幸せにも気づけると思うので日常生活から小さなことでも何かに気づける人になっていきたいと思っております。
ありがとうございました。

関西学院大学 サッカー部 3年 木村 勇大さん

今回初めてトイレ清掃をさせていただき、普段自分たちが何気なく使っている公共のトイレが様々な人の手によって綺麗な状況に保たれていることを身に染みて感じる事ができました。
これからは公共のトイレを使用する際には綺麗に使用することはもちろん、その裏には様々な方の努力があるという事を理解して感謝を込めて使用していきたいです。
非常に貴重な機会を与えてくださりありがとうございました。

関西学院大学 サッカー部 3年 唐山明大さん

私は今回初めてボランティア清掃という経験をしました。今までそういった機会には触れることなく過ごしてきました。
この経験をとおして、まずこういった活動があるということ、そして当たり前で使用しているモノにもそれを保てるように清掃をしている人がいるという2つのことを学べたと感じています。
これから生きていく中でできるだけ視野を広げ、そこから多くのことを学んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

関西学院大学 サッカー部 2年 濱滝 翔之介さん

今回、公共の場というのを初めて清掃させてもらったけど、こうして綺麗に保たれているのは必ず掃除してくれている人がいるっていうことを改めて知る機会になったのでこれから、ものを大事にすることや綺麗に保つことを意識したいと感じました。

関西学院大学 サッカー部 2年 大塚 洋平さん

私は今回の西宮清掃が初めてでした。トイレが綺麗になったという達成感はとても気持ちよく感じました。
このようなトイレを綺麗にしている人がいる事が分かったので、自分の公共の場の使い方を見直して、綺麗に使いたいと思っております。また、自分の家のトイレもしっかりと磨いていこうと思っております。ありがとうございました。

関西学院大学 サッカー部 2年 福島 淳平さん

今回、西宮神社の清掃をして思ったのは常にきれいにどこかの施設が使えるのは当たり前ではなかったということです。
今までは公共の施設でトイレしてもなんとも思っていませんでした。
しかし今回のトイレ掃除に参加して誰かが見えないところで掃除しているのだと痛感しました。
この経験を無駄にせず積極的に地域の清掃活動に参加しようと思いました。

関西学院大学 サッカー部 1年 宮井 天晴さん

自分自身地域コミュニティでのトイレ掃除をしたことは初めてで学ぶことが多くありました。まず、トイレ掃除への印象が変わりました。
トイレ掃除はだれもが率先してやるものではないです。
しかし、今回のように活動をする側になってみると綺麗なトイレは当たり前ではないということに改めて気づかせてもらいました。
また、私は今回の活動の半分を用具洗っていました。ここでも物の大切さと資源の節約を改めて考えることができました。
参加してみて、公共のものを維持している人々の努力を感じ、視野が広がりました。





●次回開催 西宮神社トイレ掃除 (おかめ茶側 トイレ掃除)
 第232回 1月16日 日曜日 (毎月 第3日曜日) 受付 7:45~
 第233回 2月20日 日曜日 (毎月 第3日曜日) 時間 8:00~10:00ごろ



◆第168回 神戸三宮街頭掃除

12月22日水曜日、一年で一番日が短い冬至です。10の方が参加頂き、三宮の街頭清掃を実施しました。今年もサンタの恰好で楽しみながらお掃除を行えました。皆さん赤い帽子がよくお似合いです(笑)



<体験感想>

高寺 生也 さん

第168回目の三宮掃除の会に参加しました。それほど気温は低くない朝だったのですが、旧さんきたアモーレ広場北東の石碑前あたりの集合場所は、通り道なのか吹き付ける風のお陰で冷え冷えしました。

第168回という事は14年間続いているという事です。お集まり頂いた約10名のメンバー。

お若い方も師走の真っ暗な早朝に電車に乗って方々からこの三宮掃除の為に、自費で何の強制力もなく自ら『掃除』と言う、

そもそも面倒臭い作業の為に目覚ましをセットして遅々お集まり頂いて。

ただ下を向いて誰かが捨てたゴミを拾い集める。むしろこの行為を『気持ちが良い!』とまで言って笑って言われた若いメンバーもいました。

今日はゴミの数が少ないと感じました。僕自身も、実は掃除は苦手です。面倒くさいと思ってます。朝早く起きるのも苦手です。

それなのに何故参加するのか?未だに掃除をする姿を知り合いに見つかりたくないなあと思ってやっています。

それでもいつも掃除を成し終えた後に感じる気持ちは、その若いメンバーの言った様に『気持ちが良い!』

街が綺麗になるのは当然気持ち良い。それを目的としてやっていますが実は『自分の気持ちが良い!』と言う事で皆さん参加されているのではないのでしょうか?

これは意外と参加して行ってみないとわからない感情なのかもしれません。通り過ぎる朝の通勤者からは少し腫れ物でも触れる様な目で見られる事もありますが、

こちらとそちらでは違った感情である事は間違いないと思います。今日も素晴らしいメンバーと素晴らしい作業に参加させて頂いて、心は清々しい気持ちです。

『あー、今日も頑張って朝起きて、ここに来れた事に感謝です!』そんな思いで帰りました。

今年もあと数日。コロナで大変な時ですが、『こんな気持ちが良い。』事に参加出来て良かったです!

来年も皆さまよろしくお祈りします!



●次回開催 神戸三宮街頭掃除
 第169回 1月26日 水曜日 (毎月 第4水曜日) 受付 5:45~ 時間 6:00~7:00
 第170回 2月23日 水曜日 (毎月 第4水曜日) 受付 5:45~ 時間 6:00~7:00

<連絡・お問合わせ先>
 西宮掃除に学ぶ会 代表世話人 石井 tel:090-8207-6045
 制作担当 堀 tel:080-4392-0392